

令和4年度事業評価結果報告書

(令和3年度実施事業)

令和5年3月
かつらぎ町行財政対策協議会

目次

1.かつらぎ町行財政対策協議会	1
2.かつらぎ町行財政対策協議会委員名簿	1
3.事業評価の方法	2
4.事業評価会議の開催日時	2
5.評価の結果	3~6

1. かつらぎ町行財政対策協議会

かつらぎ町行財政対策協議会は、町長の附属機関として町長の諮問に応じ、行財政運営の改善対策に関する基本事項の審議、町の施策・事業等の評価検証を行うために設置されている。

本年度については、本町が実施している事業の中から、必要性・有効性・効率性や住民ニーズの変化に照らして検証が必要と思われる事業を選定し、そのあり方について外部の視点から評価・検証を行った。

2. かつらぎ町行財政対策協議会委員名簿

かつらぎ町行財政対策協議会は、下記のとおり構成されている。

【かつらぎ町行財政対策協議会委員】

任期：令和6年12月27日まで

(敬称略・順不同)

役職	氏名	
会長	山根木 弘修	かつらぎ町自治区長会 会長
委員	阪田 恵央	かつらぎ町商工会 局長
委員	山本 幸則	かつらぎ町社会福祉協議会 局長
委員	表貝 恵子	JMT大作戦実行委員会 代表
委員	木村 準浩	和歌山道の駅ドットコム 代表
委員	戸田 真寿	戸田農園 代表

3.事業評価の方法

担当課からの説明及び提出された資料にもとづき、事業の個別評価として「必要性」「有効性」「効率性」を各視点から検証し、「大いにある」「概ねある」「あまりない」「ない」の4段階で評価を行い、今後の事業の方向性として「拡充」「現状維持」「一部改善」「縮小」「休止・廃止」の5段階で評価を行った。

事業の最終評価は、『評価判定（今後の方向性）』で、最も多かった評価を本協議会における評価と位置付け、『意見集約過程での主な提案・意見』を踏まえたうえで、『評価に関するコメント』を総括とし、協議会としての意見としている。

- ◎ 対象事業 : 令和3年度決算主要施策実施事業等
- ◎ 評価事業数 : 2事業及び1計画
(うち、地方創生推進交付金事業・過疎対策事業 各1事業)

< 評価手順 >

- ①所管部門による事業説明（5～15分）
- ②質疑応答・意見交換、評価シートへの記入（15～30分）
- ③協議会としての総合評価（30分）

4.事業評価会議の開催日時

日時	事業評価	場所
令和5年2月22日(水) 14:00~16:00	・高野山麓ツーリズムビューロー（DMO）推進事業 ・かつらぎ町過疎地域持続的発展計画 ・新城・花園地区光ファイバ網整備	かつらぎ町役場 2階 会議室D

【その他】

日時	内容	場所
令和5年3月13日(月)	町長への答申	町長室

5.評価の結果

令和4年度は、令和3年度に実施した主要施策のうち町が選出した2事業及び1計画についての評価を実施したところであり、今後の方向性や達成状況についての評価は、「一部改善」「概ね計画どおり」「現状維持」となった。

町の財政状況がさらに厳しいものになっていくと予想される中、費用対効果についての検証と併せて、『PDCAサイクル』の強化を図り、事業の趣旨、住民ニーズに合致した事業となるよう努められたい。

また、この報告書を第4次かつらぎ町長期総合計画の推進に役立てていただくことを要望する。

【令和4年度かつらぎ町行財政対策協議会 事業評価結果一覧】

(令和3年度実施事業)

番号	事業名	委員数	今後の事業の方向性					評価判定
			拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止 廃止	
1	高野山麓ツーリズムビューロー（DMO）推進事業	5	2		3			一部改善
3	新城・花園地区光ファイバ網整備事業	5	2	3				現状維持

番号	対象名	委員数	達成状況			評価判定
			計画以上に達成	概ね計画どおり	要改善	
2	かつらぎ町過疎地域持続的発展計画	5		5		概ね計画どおり

令和4年度 行財政対策協議会評価結果

1	高野山麓ツーリズムビューロー(DMO)推進事業	産業観光課
---	-------------------------	-------

●個別評価の判定

評価人数 5名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	2	2	1	
②有効性		4	1	
③効率性		4	1	

●評価判定(今後の方向性)

一部改善	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	2名	名	3名	名	名
評価に関するコメント	<p>コロナ禍における観光事業ということで難しいところはあったと思うが、今後のアフターコロナに向けて町内だけでなく町外の方にもイベント等さまざまなPRをし、かつらぎ町の魅力をもっと発信していただきたい。また、イベント等の参加者が一つのイベントに参加して終わりではなく、町内や近隣市町の観光施設にも訪れてもらえるような取組の実施を期待する。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・大型商業施設誘致予定の埋立地にも照準を合わせ、ここが核となりツーリズムが発展するようお願いしたい。 ・観光資源のパッケージングは他にもあるように思う。 ・定員数に関して受入施設の改善や今後の対応を望む。 ・コロナ禍で本事業を評価するのは大変困難に感じる。観光客をもっと増やすような企画の工夫は必要ではないかと思う。 ・インバウンドはとても大切だし、町民の方も行ってみたいと思えるような「楽しそう、面白そう」と思える町の頑張りが見える企画が進めば、もっと町民からの評価も上がるのではないかと思う。経費が集客に結びつくように頑張っていたきたい。 ・自治体の垣根を越えて地域一帯の観光を促すという取組は、観光の魅力度の再発掘や、移住者の増加につなげることができるためとても評価できる。町民が一致団結できるよう、地域へのメリットの説明等を継続的に行うことが重要。 				

令和4年度 行財政対策協議会評価結果

2	かつらぎ町過疎地域持続的発展計画	企画公室
---	------------------	------

●評価判定(計画の達成状況)

評価人数 5名

概ね計画 どおり	計画以上に達成 名	概ね計画どおり 5名	計画通りに進んでいないため改善が必要 名
<p>評価に関する コメント</p>	<p>令和7年度の目標に向けて、概ね計画通りに達成できていると考える。空き家はあるものの貸してもらえないことや、自治会への加入を嫌がる移住者の方や高齢により脱退する方の増加などさまざまな課題はあるが、啓発を行うなど行政としても対策を考えかつらぎ町の魅力をもっと発信して欲しい。</p>		
<p>意見集約過程 での主な 提案・意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の移住者と自治会との話し合いの場を設けて、貸したい個人が気安く応じることができる環境づくりが大事。 ・転入、移住いずれにしてもかつらぎ町の魅力を発信することが必要。 ・コロナ禍で観光客や宿泊人数は減少したが、これからコロナが明けた後の増減をしっかりと見て評価する必要があると思う。 ・自治会の加入については、行政だけではなく地域の大きな問題だと感じる。 ・町民の住みやすさの向上が地域の魅力向上に直結し、観光や移住に良い効果が出ることを期待する。そのために、町民のニーズ把握だけでなく、町外の観光客や移住検討者のニーズを調査する等、外向けのアピールにつながる要素の把握も重要。 		

令和4年度 行財政対策協議会評価結果

3	新城・花園地区光ファイバ網整備事業	管財情報課
---	-------------------	-------

●個別評価の判定

評価人数 5名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	5			
②有効性	3	2		
③効率性	2	3		

●評価判定(今後の方向性)

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	2名	3名	名	名	名
評価に関するコメント	<p>移住者の増加やテレワークなど企業誘致につながる非常に有効な事業であり、町の費用負担が少ないという点も評価できる。目標数に対し実績が少ないことについては仕方がない部分もある。高齢の方が遠くに住む家族とつながったり、引きこもりの方の居場所づくりに活用したり、観光面でも今後活用していけるものと期待する。整備したことで終了とするのではなく、今後は町内だけでなく町外に向けてのPRも実施してほしい。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる業容の拡大に努めてほしい。 ・移住者、観光客、キャンプ場利用者向けに、Wi-Fiなどを含めPRすることによって転入や交流人口増に拡充を。 ・引きこもりがちな方の居場所としても有効 ・高齢者にとっても人と人がつながることができる事業 ・観光はじめ今後の行政事業等へのベースと考えられる ・今の時代、ブロードバンドはない地域は考えられない時代 ・目標に対し実績数は少ないが、ブロードバンドがあれば移住を考える世帯も増えると期待する。 ・コロナ禍で学校の授業もオンラインで行われることも多くなっているため、大変有効な事業であると感じる。 ・インターネット通販なども可能になるので、買物難民にとってもよい。もっと啓発をしては？ ・地域住民の利便性向上と、当該地区の様々な面での活性化につながる事業であり、評価する。 ・今後、移住や観光の促進に役立てるのであれば、宿泊・商業施設や町営住宅への導入促進やPRを行うことも重要。 ・「Wakayama Wi-Fi」との連携も有効と考える。 				